



発行:(株)山研ビルサービス 発行日:2024年5月24日

272-0143 市川市相之川 1-18-20 Tel:047-358-4023 Fax:047-357-3738

HP : <http://www.yamaken-bs.com> E-mail : [office@yamaken-bs.com](mailto:office@yamaken-bs.com)



【山下社長】

## 「(前期)清掃作業従事者研修会」及び「第44期経営計画発表会」を終えて

— 代表取締役社長 山下信之一 —

皆さんこんにちは。先日は、清掃作業従事者研修会及び経営計画発表会にご参加下さい、ありがとうございました。

無事決算を終え、新しい期がスタートしましたが、皆さんの日々の働きがないと成り立たない事に感謝申し上げます。

今回の目標は、私個人のものもあり、皆さんと共有することで、自分自身を鼓舞して、自身の成長また会社の成長に繋げます。大変な事、難しい事、お客様の無理難題に何とか応えようとして来たからこそ、今の山研ビルサービスがあると感じます。そんな困難は、誰もやりたがらないし、だからこそ、そこに成長発展の道があると思います。

松下幸之助さんの言葉で、「苦難がくればそれもよし。順調ならばさらによし。そんな思いで安易に流れず、凡に墮さず、いずれの時にも心を定め、思いにあふれて人一倍知恵を絞り、人一倍の働きを積み重ねてゆきたいものである。」とあります。

どんな時でも心穏やかにして、自ら取り組みたいです。



●永年勤続表彰者の皆様（今年度15名）を代表して、北沢さんにメッセージを頂きましたので、ご紹介させて頂きます。

## 『永年勤続三十年表彰によせて』



【事業部 特別清掃課】 北沢 勝敏

4月21日は幕張で「清掃作業従事者研修会及び経営計画発表会」と「勤続者表彰」がありました。私は2つ年上のいとこの計報があり、急きょ新潟県へ行くことになり、欠席させて頂きました。奇しくも思い出と向きあう日帰りの旅でした。

翌日、仕事を終えて事務所に戻ると、若社長が私に表彰状を読み上げてくれました。（その場にいた皆さん的心遣いにもウルウル…。）思い起こせば十代の社長は進路未定で反抗期まっ盛りのアルバイト学生でした。まさかこんな日が来ようとは…。（想像してました。）会長の社員教育のおかげもあってか、2人とも随分変わったよねえ。



経営計画発表会に参加出来なかった私は浦島太郎の気分。

玉手箱を開けてしまったかな？

本当に30年なんてあつという間です。私が留守だった従事者研修に複雑な思いもチラリ。あれっ、天国のいとこが今、ニヤッと笑ったような気が…。



【研修風景】

## 『志を養う』

世に仕事を成し遂げた人で、志を抱くことの大切さを説かない人はいない。私は38歳の時、脳梗塞で倒れ、一命は取り留めたものの右半身に麻痺が残り、寝たきりの生活が始まった。人生の危機に直面させられた私は、ベットの上で必死に考え、本を読んだ。絶体絶命の立場に立たされると娯楽小説のような軽いものはもう読む気がせず魂の奥底に響く重厚なものを渴む。そうした状況で読んだ『論語』は、私に改めて人生について考えさせ、心に染み入った。病床で何度も読み返すうちに『論語』の一番重要なメッセージは、「命を知らざれば、以て君子たること無きなり」ではないかと思うようになった。自分の命に目覚めなければ、優れた人物になることはできないというのだ。私はいたく反省した。

「私は何の為にこの世の中に送られてきたのか。この人生で何をしなければいけないのか」と、自問しない人はいない。しかし、とことん突き詰める前に日常生活に戻ってしまい、元の木阿弥になってしまう事が多い。闘病生活という日常生活から断絶された私は、自分の使命、天命について考えるようになった。それまで私はいつも人と自分を見比べ、早くビッグになりたい、有名になりたい、成功したいと上ばかり見ていたが、やっと足が大地に着いたのだ。私は命を自覚し、見事な人生を切り拓いていった人物達の伝記を書くことによって、人生を取りこぼさなくてすむ叡智を明らかにしたいと思うようになった。自分の命が見えてくると、次に「これを実現せずにおかしい！」という意志、つまり強烈な志が立ってくる。

### ●森信三先生の言葉（『修身教授録』）

『人間は、志を立てて初めてその人の真価が現れるのです。志を立てない人間というものは、いかに才能がある人でも、結局は酔生夢死（※注釈）の輩（やから）に過ぎないといえます』※『酔生夢死』…虚しく生涯を終える事。まるでお酒に酔い、夢見心地のまま

何一つ有意義な事をせず、一生を終える事。

（※神渡良平著『佐藤一歳「言志四縁」を読む』から抜粋させて頂きました）



人生は何の為にあるのか。私はなぜこの世に生まれてきたのか。若い頃は解らなかったのですが、最近は少し解ったような気がします。自分の今の仕事を全うする事だと思うようになりました。

— 山下久人 —



